



株式会社ヒロハマ 社内報

<経営理念>

- 一、缶パーツとその関連技術を通じて、缶の社会貢献を全面的に支援しよう
- 一、一人一人の持つすべての能力を、共にベストの形で花開かせよう
- 一、現場で現物を見て現実を把握し、原理原則にのっとり対処しよう
- 一、お客様と我々自身に還元するために、一切のムリ・ムダ・ムラを無くして最大の利益を追求しよう
- 一、国内外を問わず、自らの可能性を追求し、仕事を通じて社会に貢献しよう

6月迄業績	計画	実績	差異	%	昨年比	%	12月迄成り行き	昨年度実績
売上	217,051	216,808	- 243	99.9%	24,314	112.6%	436,491 万円	403,780 万円
営業利益	8,699	15,148	6,449	174.1	7,201	190.6	23,502(5.38%)	15,463(3.83%)

<猛暑に要注意/6月を終えて好調維持で上期折り返し>

7月に入り各地で災害級の猛暑が続いています。ヒロハマでも熱中症リスクのある現場がまだ多い中で、皆さんの支えがあり成り立っています。会社もそれに甘えず、労働環境向上に努めていきます。くれぐれも無理をしないよう、ご自身の体調第一で業務に臨んでください。

さて、6月を終えたところで当社は上期折り返しとなりました。詳しい数字は右記の通りですが、例年になく好調な数字で下期を迎えられたのも皆さんの頑張りのおかげです。日頃の業務、そして暑い中での作業に改めて感謝申し上げます。

市況は決して安泰ではありません。緊張感を持ちながら、これからも安全・品質・納期に努めていただくよう、よろしくお祈りいたします。

【全社品質目標の達成状況】

安全第一 労災事故 0 件 : 6 月末で千葉 196 日、大阪 142 日、
労災事故ゼロ継続中。
品質クレーム: 6 月度 千葉 1 件(社外 1 件)-累計 6 件(社外 6 件)
大阪 1 件(社外 1 件)-累計 3 件(社外 3 件)
全社年間目標である 21 件に対し 9 件、すべて社外クレーム。生産
負荷が高止まり状態のアルトップに下期はフォロー予定。
社内クレーム全社でゼロ行進はお見事。
納期遅れ : なし
コストダウン: 6 月度計画 433⇒実績 596 (137%) 累計 3,462 (133%)
新規品売上 : 6 月度 東営 計画 602 ⇒ 実績 540 (89%)
累計 3,029 (85%)
大営 計画 145 ⇒ 実績 73 (50%)
累計 707 (93%)

6月単月 (単位: 万円)	売 上		営業利益		営業利益累計	
	計 画	実 績	計 画	実 績	計 画	実 績
東京営業所	24,932	29,424	1,115	1,633	6,388	8,837
千葉工場	22,894	26,269	808	2,117	1,163	2,497
大阪営業所	14,546	13,107	373	409	1,983	3,773
大阪工場	11,529	9,897	225	-365	-834	41
全 社	24,932	29,424	2,521	3,794	8,700	15,148

稼働率 : 6 月度 千工 目標 81% ⇒ 82.4% (通年 81.9%)
大工 目標 79% ⇒ 80.2% (通年 81.4%)

<退職金共済制度利用のお知らせ>

中小企業退職金共済制度(以下、中退共制度)は、独力では退職金制度を設けることが難しい中小企業に退職金制度を設け、中小企業で働く方々の福祉の増進を図り、中小企業の振興に寄与することを目的としています。(通称中退共)

中退共は平成 22 年に一度加入したきり、継続の加入が出来ておりませんでした。

こちらは全社員が加入対象となっていますので他保険の整備も併せて保険加入をさせていただきます。(皆様のご負担はありません) 加入に際し面談などはありませんが、皆様のお名前と生年月日は提出しますので、昼礼に続き社内報でもアナウンスさせていただきます。

中退共は企業が安全に退職金を準備するための制度になっておりますのでご承知おきください。

7/25 廣瀨 庄一郎

<人を生かす経営>(12)

【2】相互尊重(5)

(3)違いを理解する

生活保護を受けていても...

生活保護を受けている人たちの受け入れを積極的に行っている会社があります。やはり同友会と一緒に学んでいる笹原さんが創業した総合パトロール(株)。驚くのはその成功率で、7割とか。これって常識では考えられないぐらい高い数値なのです。

確かに、働かなくてもお金はもらっているわけですから、役所から紹介されて採用面接に行っても、本音では「早く断ってくれ」と思っている人が多いはず。その中の 7 割の成功率は、確かに凄いです。

当時、社長だった笹原さんに「なぜ、そんなにうまくいくのか」を伺ったところ、こんな風に語ってくれました。

「面接に来たら、なぜ生活保護を受けるようになったのかをずーっと聞きます。半日でも聞きます」

「それを聞いて分かるのは、誰一人として、好きこのんで生活保護を受けるようになった人はいないということ。生まれや育ち、人に騙された、病気になった、会社が潰れた等々、それこそ様々な挫折があって、今の境遇に入り込んでしまった、ということです。」

「そこまで、いろいろ聞いていると、相手も『あ、この社長は自分のことを理解してくれている』と感じてくれるようです。」

「そして、さらに話していると、どんな人でも『世のため人のためになりたい』という気持ちは持っていることが分かります。そこに光が当たれば仕事へ復帰する流れが出てきます。」

私たちは、その人の外観や現在の挙動によって、「この人はダメな

人」とか決めつけがちです。なぜそうなっているかを理解しようとはしない。相手の素晴らしさなど、見えるはずありません。

誰もが、自分のことを理解してもらいたいと思っている。少なくとも、そのことは頭に置いておきたいものです。

生まれや育ち

「命というものは、みんな違いがある。そういう特徴があるからこそ、様々な天変地異があっても命というものは引き継がれてきた」とは、元教育学会会長の太田堯先生の言葉。

まず、ご両親から受け継いだ DNA は、全世界で唯一自分だけのオリジナルです。全員違う。容姿も背の高さも様々な能力も違う。生まれつき運動神経がいいとか悪いとか、音感がいいとか悪いとか、いろいろの違いがあります。良いところも悪いところも、本人は全部受け止めるしかありません。

育ってきた環境もみんな一人一人違います。両親とも健在の家庭ばかりではないし、家族の仲が良いか悪いか違って一様ではありません。経済的な問題から十分な教育が受けられなかった、という人もいます。

そんな風に、みんな生まれや育ちに違いは必ずあるので、現在の性格や言動がそれに左右されていないはずはありません。こちらから見れば「当たり前」と思うことが、相手にとっては、そうではないことも普通にあります。怖いのは、大体自分を基準に考えるのが人間ですので、考え方の違いについては「相手が間違っている」とかならず考えてしまうこと。正しさを決めつけるのではなく、まずは違いがあることを認識するように、お互い気を付けたいものです。

7/25 廣瀨 泰久